

温暖化防止

ストリート



第17号
2006.1.1

「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

1. 抜本的な国内対策で京都議定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！



- ・用語解説「都道府県センター」……P.1
- ・団体紹介「特定非営利活動法人ワークス コープエコテック関西オフィス」…… P.2
- ・温暖化の影響・こんなことができる… P.3
- ・国際交渉でのロビー活動・本の紹介・ボランティアの声…… P.4

気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い、この「温暖化防止・ストリート」を発行しています。

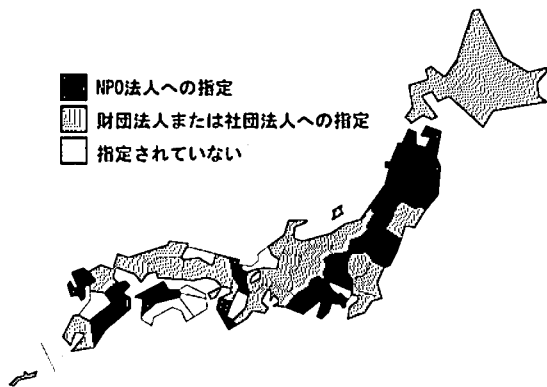
地球温暖化に関する用語解説

都道府県センター

都道府県地球温暖化防止活動推進センター（都道府県センター）は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」によって定められていて、各都道府県知事によって指定されます。1999年に北海道センターが指定されてからこれまでに39の道府県で設置されています。2年前の法改正によって特定非営利活動（NPO）法人も指定を受けることが可能になり、以降指定を受けるNPO法人が増えてきています。

都道府県センターの主な業務は、地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」「活動支援」「照会・相談活動」「調査・研究活動」「情報提供活動」などとなっ

- NPO法人への指定
- ▨ 財団法人または社団法人への指定
- 指定されていない

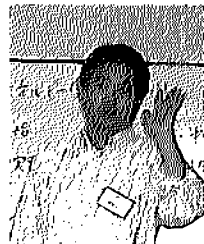


ています。具体的には、都道府県知事から委嘱された「地球温暖化防止活動推進員」の研修や活動支援、さらには市町村や地域協議会、NGOなどと協力しての実践活動、地域のネットワーク・パートナーシップづくり、削減のための調査・仕組みづくりなど、多彩な活動ができます。

これから、地域の温暖化対策促進の拠点となっていくことが期待されています。

紹介者

「特定非営利活動法人ワーカーズコープエコテック関西オフィス」の紹介です。林さんから紹介いただきました。



林 敏秋さん

初めて会った人に必ず質問を受けます。「ワーカーズコープってなんですか？」およそ環境NGOには似つかわしくない名称に多くの人が少し違和感を持ちます。ワーカーズコープとは労働者生産協同組合のことです。なんかますます環境とはほど遠い名前です。ワーカーズコープは、そこで働く者、自らが出資し、働き、運営し、分配をするシステムです。私たちがこの新しい働き方にこだわったのは、単に運営方法などが「民主的」だと言うだけではありません。これまでの企業は利潤追求を第一に運営されてきました。その結果が現在の大量生産、大量消費、大量廃棄の社会をもたらしたといえます。次の世代の資源まで使い果たし、地球環境を取り返しのつかない状態に追い込もうとしているのです。私たちは、営利重視ではなく、社会的な有用性と環境への負荷を重視するモノづくりの一つの事業形態として、ワーカーズコープを選択したのです。私たちは、この新しい働き方の中で働く喜びを得たいと願っているのです。

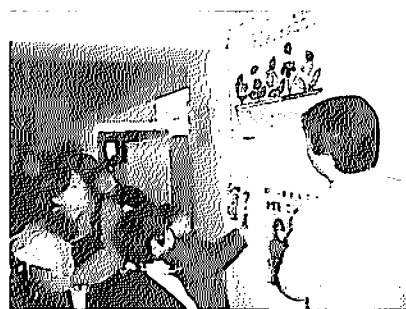
現在、ワーカーズコープエコテックは二つの顔を持っています。約2年前に取得した特定非営利活動法人ワーカーズコープエコテックと株式会社エコテックという顔です。非営利的「市民事業」をめざす立場からいけばNPO法人に一本化したかったのですが、自然エネルギー機器の販売や施工を行っている関係上、仕入れや経理の関係で株式会社は残さざるを得ませんでした。

NPO法人では、自然エネルギーの普及啓発活動などに重きをおいて活動しています。気候ネットワークにはNPO法人ワーカーズコープエコテックで参加し、京都のNPO団体と連携をとりながら様々な活動に関わっています。

具体的な活動を少し紹介します。COP3が終わって、何か京都でも自然エネルギーについて活動を始めようとしていた時、埼玉県の小川町で私たちの仲間が始めていた自然エネルギー

学校に参加する機会を得ました。若い有機農業者を育てようというコンセプトで運営されていた小川町の自然エネルギー学校に触発されて、京都で都市型の自然エネルギー学校・京都をはじめたのが1999年でした。気候ネットワーク、環境市民、エコテックの三者が主催し、ワークショップを中心とした体験型の市民学校でした。この企画は、その後、兵庫、滋賀、岡山、福岡、鹿児島、熊本、和歌山と各地に波及していきました。

節電した分を貯めて自然エネルギーの普及に使うというNPO法人きょうとグリーンファンドの運動も少しお手伝いをさせていただいています。保育園や幼稚園の屋根に市民参加型のおひさま発電所を作ろうという呼びかけは、京都の地に着実に根付きはじめようとしています。また、こうした団体と連携を取りながら、地域での自然エネルギー普及制度の確立を目指している京のアジェンダ21フォーラム（京都市呼びかけのパートナーシップ機関）の自然エネルギーワーキンググループにも参加しています。気候ネットワークや多くのNPO団体に支えられながら、私たちの知識や技術が少しでも役立つことを願って日々の活動を行っています。



今回の団体は

特定非営利活動法人 ワーカーズコープエコテック 関西オフィス

気候ネットワークの団体会員の紹介です。

特定非営利活動法人ワーカーズコープエコテック関西オフィス
〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町4-35-1 日乃家ビル2F
TEL:075-644-1211 FAX:075-644-1255
Email:kansai@ecotech.net URL:http://www.ecotech.net/

パンフレット完成!

進行する日本温暖化



最近暖冬が続き、気象庁ではこの冬も暖冬傾向と見ていましたが、師走の日本列島を寒波が襲い、この冬の平均気温は平年を下回り、1995～96年以来となる久々の「寒冬」になりそうです。

温暖化が進行すると、気候の平均値が変化するとともに分散（変動幅）が拡大・シフトすることで突発的ないわゆる異常気象の出現頻度が増加すると言われています。近年頻発する異常気象はこうした変化の一環として捉えることができます。

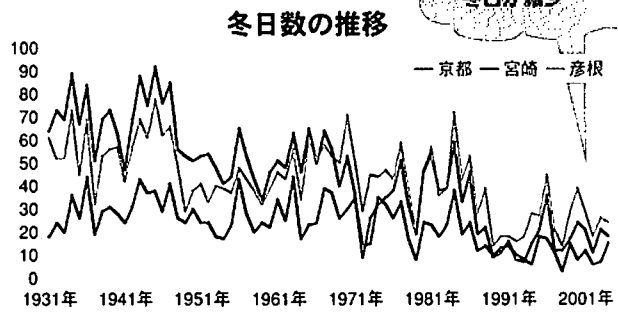
また、最近では多くの方が温暖化に伴う気候平均値の変化を実感できる程になってきています。今号では、こうした気候変化の例をいくつか紹介します。

地域的に見ても年平均気温をはじめ年最低気温、

熱帯夜日数、冬日日数のそれぞれに変化が見られます。年平均気温では、最近30年間で1900年初頭の30年間と比較すると、宮崎・彦根で約1℃、京都にいたっては約2℃も上昇しています。

また、熱帯夜日数についても、京都や彦根では10倍以上に、宮崎でも2倍以上に増加しています。その一方で一日の最低気温が0℃を下回る冬日日数が半分に減少しています。こうした変化はいずれも一様ではなく年ごとに増減を繰り返しており、1980年代以降の期間は増加傾向（冬日は減少）となっています。このような気候の変化は生態系や私たちの生活・社会に様々な影響を及ぼしています。

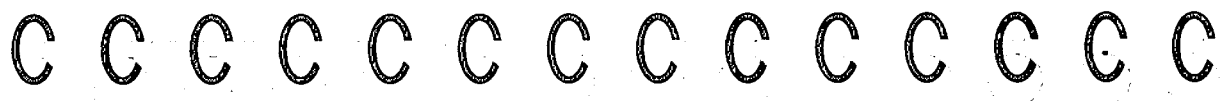
どの地域でも冬日が減少



気象庁統計データより作成

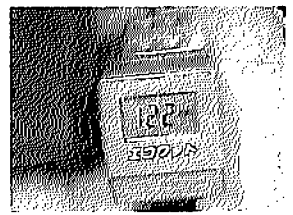
昨年、気候ネットワークでは、こうしたさまざまな温暖化の影響に関する調査・研究のとりまとめとヒアリング調査、セミナー開催などを行い、市民向けの冊子（写真）を作成しました。国内の食料生産、動植物、健康などへの影響を載せています。ご希望の方は、京都事務所までご連絡ください。

温暖化防止こそ重要!



このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」でできる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

今回のテーマは、消費電力計測のススメ



「電気の省エネに取り組みたい」と思っても、どの電化製品にどのくらい電気が消費されているのか分らなければ難しいものです。そこで、電気の消費量を簡単に計測できる機器を使用してみたいかごでしょうか。

「エコワット」や「ワットチェッカー」という機器が市販されています。あまり高価ではなく、使い方も簡単です。家にある電化製品を計ってみて、合計すると月々の電気代と同じになるか調べてみたり、新しい省エネ型の電化製品を購入した際に、

カタログ通りの消費量になっているかチェックしてみることができます。

少し高価ですが「ワットアワーメーター」という機器も市販されています。これであれば、CO2排出量も表示されます。

環境家計簿に取り組む時にも、一ヶ月分の電気消費量を記入するだけでなく、電化製品それぞれの消費量を計測することで、より適確な省エネを進めることができるでしょう。

Action

気候ネットワークの活動紹介

「国際交渉でのロビー活動」

COPやCOPMOPなどの国連の会議は政府間交渉であるため、交渉当事者は政府関係者となりますが、NGOはオブザーバーとして参加します。

会議に参加するNGOは、国際的に大きな決定を行う交渉に立ち会い、交渉動向をつぶさに追ひ、温暖化防止のためのよりよい合意をするために働きかけを行います。気候ネットワークでも、他国のNGOと協力して会議の場で交渉をウォッチし、政府代表団に意見を伝えたり、会議の合間に政府の交渉担当者とは直接話をする事によって、会議の行方に影響を与えるよう活動しています。このような交渉関係者への働きかけは「ロビー活動」と呼ばれ、私たち環境NGOの国際交渉における重要な活動のひとつとなっています。

今回モントリオールで開催されたCOP11/COPMOP1でも、各国から集まったNGOは、毎日の交渉動向を追ひ、後ろ向きな行動を取った国に「化石賞」を与えるというイベントを会場で行って交渉姿勢の転換を求めたり、eco（英語版NGOニュース）や、Kiko（日本語版NGOニュース）を発行して、会議参加者に対して会議の論点を解説するとともに交渉を後押しする活動を展開しました。

このような気候ネットワーク等のNGOによるロビー活動は、合意を後押しする推進力として、その役割や重要性が評価されています。



Media

メディア紹介

これから省エネ・エコライフに取り組む方の手助けとなるサイトをいくつかご紹介します。

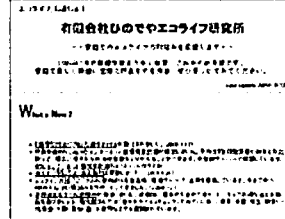
◆環のくらし



家庭での省エネの具体例を紹介した分かり易い出版物を発行している。

<http://www.wanokurashi.ne.jp/>

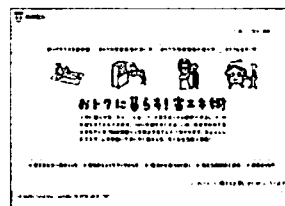
◆ひのでやエコライフ研究所



家庭でのエコライフの取り組みを支援。「省エネに関する良くある質問」などがある。

http://www2s.biglobe.ne.jp/~y_suzuki/ecolife/

◆東京電力 おトクに暮らす！省エネ術

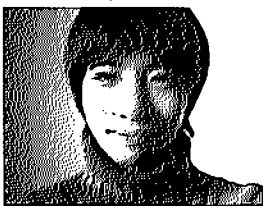


電気の省エネに特に詳しい。過去（約2年分）の毎月の電気・ガスの使用量を照会できるサービスも。

<http://www.tepco.co.jp/life/custom/saving/index-j.html>

Volunteer

ボランティアの声



気候ネットワークでは
たくさんのボランティアが
一緒に活動しています。
そのボランティアからのコメント！

京都ボランティア 酒井英行さん

私は、二回生の秋から京都事務所ボランティアをしています。現在は、主にボランティアのサブチーフや自然エネルギー学校・京都の担当者として携わっていて、大学内だけの学生生活では体験できないような貴重な経験をさせてもらっています。最近では、自治体における自然エネルギーの導入について関心をもち始めているので、これからも気候ネットワークでの活動を通じて様々なことを学んでいきたいと思っています。

編集後記

去年の夏からインターンとして活動させていただいている松木美佳です。今回初めてストリークの作成に関わらせていただきました。わからないことも多かったのですが、少しずつ学んでいながら、楽しく編集することができました。デザインや内容などについて、ご感想やご要望をお待ちしています。今後ともよろしくお願ひします。（マッキー）



特定非営利活動法人 気候ネットワーク

URL : <http://www.kikonet.org/>

代表：浅岡美恵 / 副代表：須田啓海 / 印務局長：田浦健朗

「温暖化防止・ストリート」17号
2006年1月1日発行（隔月1日発行）
編集・DTP：松木美佳・豊田陽介

京都事務所（本部）
〒604-8124 京都市中京区高倉通四條上る高倉ビル305
TEL : 075-254-1011 FAX : 075-254-1012
E-mail : kyoto@kikonet.org

東京事務所
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F
TEL : 03-3263-9210 FAX : 03-3263-9463
E-mail : tokyo@kikonet.org

紙100%の再生紙に大豆インクを使用し、風力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座：00940-6-79694（加入者名：気候ネットワーク）
銀行振込口座：三菱東京UFJ銀行 京都中央支店 普通口座 1370852（気候ネットワーク）